

ふたごが語る生命のふしぎ - 人間・遺伝・進化 -



安藤 寿康 先生

慶應義塾双生児研究代表
慶應義塾大学文学部 教授

慶應義塾大学大学院社会学研究科
博士課程 修了
コロラド大学行動遺伝学研究所（訪
問教授）、キングス・カレッジ、ロン
ドン（訪問教授）として、海外でも活
躍。バカ・ピグミー（カメルーン）の
フィールド調査も実施している。
専門は、教育心理学・行動遺伝学。

日時：平成28年11月1日（火）18:00～19:30

会場：国際文化会館 東館地下1階樺山
松本ルーム

〒106-0032 東京都港区六本木5-11-16
<http://www.i-house.or.jp/access.html>



安藤先生は、教育の遺伝的・進化的基盤を解明する「進化教育学」の構築にご関心をもち、遺伝と環境は人間にどう影響しているのか、科学的な解明を目指して20年以上にわたり研究されています。

「遺伝と環境は複雑に絡み合って、重要な役割を果たしている。生命現象はもともと複雑なもの。それを単純な理論に落とし込むのではなく、複雑なまま理解することも大切。」という安藤先生。今回は「ふたごが語る生命のふしぎ」というテーマでお話しくさせていただきます。

次回予告

創造性を育むために大切なこと ：脳科学の視点から

講師：小泉英明先生（日立製作所 役員待遇フェロー）

日時：平成28年12月6日（火）

会場：筑波大学東京キャンパス 116教室
丸ノ内線茗荷谷（みょうがだに）駅下車「出口1」徒歩5分

